

# (非営利型) 一般社団法人Nancy 第4期事業報告書

(2022年7月1日から2023年6月30日まで)

代表理事 住田涼

## I. 事業成果

2019年1月23日にて設立した当法人の活動目的は、

- (1)教育を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
- (2)子育て支援事業
- (3)勤労意欲のある者に対する就労や創業の支援事業
- (4)地域社会の健全な発展を目的とする事業
- (5)関係諸団体との協力関係を増進するための事業
- (6)会員との連絡、交流のための会報や会の開催、名簿等の発行の事業
- (7)その他当法人の目的を達成するために適当と認められる事業
- (8)当法人の持つ知見を普及、共有する事業

等を行うことにより、子どもから若手社会人・子育て世代への教育や子育て支援、就労や創業の支援を主軸に、街ぐるみで子育てし子どもと大人が互いから学び合える共育都市の創出である。

「ぎふマーブルタウン」「ぎふマーブル子育てカフェ」の開催等を行うことにより子どもの主体性・協調性・創造性を引き出す機会の創出に貢献、そして保護者の子育てや教育に役立つコンテンツを届ける機会を創出した。

第2期より開催した新規事業「ハローインタレスト」では、子どもや学生が生き生きと働く社会人から仕事の意義や想いなどを聞き、自身の目指したい仕事や生き方について考える機会を創出した。ただし新型コロナウイルスの影響もあり、当初想定していたBtoCの形による運営継続を困難に感じ、BtoBを主とした路線への変更を模索している。

第3期より開始した「おやこde資産形成アカデミー」では、お金を理由に子どもが夢を諦めなくて済む社会に向けてお金の使い方へフォーカスしながら、親子に向けて投資やお金について学べる機会を創出した。

## II. 事業の実施に関する事項

当法人の自主事業の運営と認知度や信用度を高める事業、資金調達に関する事業を重点ポイントとする。

### 1. ぎふマーブルタウンに関する事項

小学生が架空都市の運営を通して生きる力を獲得するキャリア教育事業「ぎふマーブルタウン」は今年度、2022年7月3日、2022年10月2日、2023年2月5日と再開を想定した日程を組んでいたものの一度も開催する機会がなく終えた。

「ぎふマーブルタウン」の代わりとして選挙と起業を削った派生版イベント「きらきらキッズタウン」を2022年10月2日13:00-15:00、岐阜市中央青少年会館にオフラインにて参加者10名ほどで実施した。小規模開催のため学校へチラシは配布せずに行った。コロナ禍で時間が空いたためゴムが劣化し風船が相次いで割れたりするといった小さなトラブルはあったが、参加した子ども達はいずれも笑顔で楽しんで参加していた。また共催という形で準備を進めていたもののコロナによって中止となってしまった岐阜市中央青少年会館での実施にあたり、職員の方も本取り組みの意義を感じていただける機会となった。

開催は次期となるがコロナ禍が明けてきたため「ぎふマーブルタウン」を2023年7月17日にメディアコスモス開館8周年イベントの一環、2023年9月17日に岐阜聖徳学園大学羽島キャンパスのサッカー部との共同イベント「ぎふ未来プロジェクト」の一環として実施することと、2024年2月25日にドリームシアター岐阜・岐阜市中央青少年会館にて従来と同様の形で実施する予定が決まったため、コアスタッフを再募集し準備を進め始めた。

## 2. こどものまちオンラインに関する事項

10月5日、チャンネルCCN「エアトピックス」にて後述するクラウドファンディングについて取材をいただいた。

「Syncable」でのクラウドファンディングを実施し、目標金額6,000,000円に対して277,251円が集まった。行政の方へのアプローチや助成金申請も試み、クラウドファンディングの反応も含め一定の共感や応援は得られたものの、やはり実績の乏しい取り組みに対して大きな金額は集まらなると判断し、やりたいことの全てではない縮小版（プロトタイプ）を形にするところから始めることを決定した。

開催は次期となるがバーチャル自治体「令和市」、大阪万博にも関わる市民団体「バーチャル街づくり連合」と協同し子ども達とメタバースを構想するイベントを2023年8月20日に実施する予定が決まり、現在準備を進めている段階である。

## 3. ハローインタレストに関する事項

プロボノとのマッチングを行なっている「認定NPO法人サービスグラント」を通して、住友商事プロボノチームの方々より「BtoB事業の企業様向け営業資料の作成」を支援いただき、営業資料だけではなく手応えや反応を見られるためのヒアリング用資料まで作成いただいた。

ただコロナ禍で休止する中でビジネスモデル見直しの必要性を感じたこと、そして団体の財務基盤や組織基盤を考慮し、一旦は事務局を構成できるだけの収益化を優先し本取り組みはそれまでは休止することとした。

## 4. およこde資産形成アカデミー（旧名：Geek養成塾）に関する事項

7月24日からの6期は関西・北陸を加えた4県7自治体から後援をいただき、18万枚のチラシを学校へ配布。申し込みが440家族の参加があった。10月2日からの7期はより大きく拡大し20都道府県49市区から後援をいただき、66万枚のチラシを配布し申し込みが2,292家族となった。1月8日からの8期ではさらに全国へと拡大し、44都道府県91市区から後援をいただき、134万枚のチラシを配布。2,097家族からの申し込みがあった。5月6日からの9期では45都道府県144地域から後援をいただき、200万枚のチラシを配布。2,846家族の申し込みがあった。

2023年1月31日、弊社副代表であり本取り組みの代表講師「にぐ先生」こと谷口達也氏が監修した書籍「10歳からの図解でわかる投資 知っておきたいお金のしくみとはたらき」が、メイツ出版より出版された。

10月2日には日本テレビ特番「ファミリークエスト」にて「今大人気 将来有望！稼げそうな習い事」として取り上げていただき、4期受講者のあやかさんが主演。あやかさんは元々は普通になんとか普通科へ進学すると思っていたところ、本アカデミーの実践コースを受けて経済や起業に興味を持つようになり、「高校は商業科に行きたい！」という進路の希望が生まれたそうだ。

## 5. 広報に関する事項

Facebook、Twitter、Instagram、LinkedInといったSNSを適時更新し、Webサイトの更新やLINE公式アカウントでの発信も適時行った。

プロボノマッチングサービス「GRANT」にてNancyの名刺デザインを担っていただけるプロボノの方を募集し、餡蜜桃子様・Ami Kanda様に「子どもに向けたキャリア教育をやっている」と一目で分かる、温かく素敵な名刺とロゴをデザインいただいた。先々で配布する度に「名刺がとても可愛い」と好評である。

## 6. 資金調達に関する事項

2020年末より始めた「およこde資産形成アカデミー」に関する寄付が大きく増えた。

Nancy全体を応援くださっているマンスリーサポーターや協賛企業による寄付収入もあり、ぎふマーブルタウン自体は停止しているものの、オンライン版である「こどものまちオンライン」実現を期待して下さっている方々からの寄付をいただいた。

全国に店舗を広げている「買取大吉」様と連携し、使わなくなったモノの買取金額をNancyへ寄付できる「買取大吉モノ募金」を開始した。

## 7. 実績、その他に関する事項

寄付型NPO運営で約2億円規模の認定NPO法人D×P代表の今井紀明氏が運営する、NPO経営の特別ゼミに参加した。

2月23日NPO法人しみんシップnetが主催する研修会「学習支援&子ども食堂～見えないものに寄り添うために～」へ登壇した。

NTT西日本が運営する「QUINTBRIDGE」にて行われるILabの、マザーハウス山崎大祐氏による「思いを1億円に！」ゼミの審査に通過し、半年間経営を学ばせていただくことが決まった。

実績のある多くのNPO法人経営者が集まる「新公益連盟」へと加入した。